



さわらび保育園年報
第10号
 2020年(令和2年)8月24日 発行
発行/編集
 社会福祉法人 輔仁会
 さわらび保育園
 〒813-0031福岡市東区八田4-6-5
<http://www.hojinkai.ed.jp/sawarabi/>



コロナ禍の保育園 理事長 大浦 純平



ここ4ヶ月、コロナ感染拡大という未曾有の状況が続いています。現在まで保護者の方の感染例が若干あるものの、園児・職員の感染は免れています。これから先、どのような事態になるのかは全く予想ができません。

最近、匿名のメールで「このような時なのに開園をするとは何事か」とお叱りを受けました。しかし、保育はエッセンシャルワークと位置付けられ、「人々が日常生活を送る上で欠かさない仕事」とされており、国及び地方公共団体からは出来る限りの開園を要請されています。休園となるのは「園児」や「職員」の感染があった場合、市町村の判断で休園の決定をした時となります。

とはいえ、園内でクラスターが発生しては本末転倒です。そのため、登園前の検温、登園時の消毒、保育中の多くの場面での手洗いやうがい等の徹底を心掛けながら保育を実施しています。保育者たちは頑張っています。勿論、予定していた行事等についても内容を吟味して必要最小限の開催をしたり、止む無く中止したりしています。子どもたちの成長を確認できる良い機会である行事の変更は保育士にとっても辛いものがありますがこの状況では致し方ありません。

…… 一日も早い収束を心から願うばかりです。

ホームページ(HP)のリニューアル www.hojinkai.ed.jp

今回、輔仁会のHPが新しくなりました。法人広報委員会の手により、3代目のHPは新技術を駆使した見栄えの良いものができたと思っています。今後、情報発信が充実され、入園や就職の際に広く利用され、保護者の皆さんに園生活の情報を発信できれば良いと考えます。

思い起こせば、1997年(平成9年)にHPが流行の兆しを見せ始めたころ、私が技術的な知識もないまま、資料をかき集めて何とか作って公開したのが第一歩でした。続いて、2005年(平成17年)には「輔仁会三園のHP」として情報を発信するようになりました。

そして、今回のリニューアルで最新のテクノロジーを駆使したHPが誕生したのです。より見やすく、快適に利用できるWEBサイトを目指し、デザイン・構成とも一新しました。また、当法人の考え方をより深くご理解いただけるよう、目指す保育について三園のページで「大切にしていること」として掲載しています。

担当の委員会ではその実践を日々のブログに綴り、さらにインスタグラムを使ってより多くの方に見ていただけるよう情報発信に努めると張り切っています。手探りで始めてから23年、今回のリニューアルは感慨深いものがあります。

二〇二〇年二月下旬を境に、当たり前と思っていた日常が一変してしまいました。緊急事態宣言が解除された後に提案された新しい生活様式なるものを見るに、手洗いや消毒は当然ですが、人との距離をこる、会話は真正面を避ける、密を避けるなどまるで人ととは親密に開く、な、と言われているようです。親子の間で密接という関係が絶対に必要であるのと同じく、保育園でも子どもとの間の密接な状況は年齢が低いほど必要であり、現場の職員は懸命に

保育を行っています。また、私が悲しく思うのは、保育士が思い切りうたを歌えないこと。人々が集って大きな声を出すことを避けようとしていて、うたを聴く、歌うことから始まる音楽の楽しさを

「生活様式」に思うこと

統括次長 大浦まゆみ

子どもたちに伝えたい美しい小母音を聴かせてやりたいのに、マスク越しでは伝わりません。せめて子どもたちだけは、並び方を工夫して変わらぬ歌ってほしいと思います。

この状況の中でも、今までと同様に子どもたちは笑顔を見せ、日々成長しています。希望を持って子どもたちから信頼される保育を続けていきたいと思えます。



「安心・安全な毎日」

園長 三笠良子



昨年度の終わりからの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、新年度が始まってすぐ、2か月近く保育園への登園を自粛されお休みする子どももいました。ようやく6月から、みんな揃ったの新年となりました。新入園児の子どもたちにとっては職員全員「マスク」姿での初対面です。新入園児に限らずそれぞれの新しい環境の中で幼い子どもに私たちがどう映っているのだろうという不安もありました。明るく笑顔や優しい表情がなかなか伝わりにくいマスクで覆われた状態です。しかし、声の調子や言葉、態度やまなざしに優しさをこめて「安心できる存在」であることを精一杯伝えています。

職員は自分自身の健康を管理して、手指や園内の様々な場所や玩具の消毒をいつも以上に徹底し、子どもたちの手洗いうがいを見守り指導することに努めています。毎日の努力に園長として感謝しています。保育園では大人と子ども、または、子ども同士が一定の距離を保ちながら生活しています。そのような中で子どもたちは穏やかに、朗らかに過ごしています。日頃の保育園での生活は今のところ無事に送る事ができていますが、子どもたちも保護者の方々も楽しみにしてあった行事に関しては、中止の決定をせざるを得ない状況にあり大変心苦しく思っています。

保護者の皆様にも園内に立ち入る際の手指の消毒や人数を一人としていただく制限、また、園内にとどまる時間をできるだけ短くして準備をしていたりなど、ご協力をいただいています。ありがとうございます。

この感染症の収束はまだ先が見えません。報道で伝わってくる感染者の人数に驚く毎日です。今後もしっかりとした対策をして子どもたちの安全を守っていかたいと思っています。

思いやる心と優しさを

2020年度 父母の会 会長 光野 典



昨年に引き続き、さわらび保育園父母の会会長を務めさせていただきました光野典です。

いつもなら今頃、憧れの太鼓を初披露する青組さんのカッコいい姿や、親子で楽しむ夏祭りも賑やかに盛り上がる予定でしたが、今年は長引く新型コロナウイルスの影響により、楽しみにしていた夏祭りを子ども達の安全安心を第一に考えて中止にしました。感染者が増え続ける日々が続く、今後の行事をどうしようかと頭を抱えています。幸い、四役は昨年度と同じメンバーなので、その分連携が取りやすく安心感があり心が救われました。

今年の行事は例年通り。とは行かないですが、変わらず各行事にお手伝いを頂く実行委員さん、サポーターさん、おやじの方々協

力を頂きながら、園と相談しつつ今できる範囲で進めていけたらと考えております。

いろんな方向で規制される毎日で暗い話題ばかり。今年は「辛抱の1年」になるかと思いますが、思いやる心と優しさを大事にしていきたいですね。

こんな時でも子ども達のパワーは底無しで、毎日元気いっぱい走り回る姿から、私たちも元気を沢山もらっています。仕事と家庭と育児に感染予防対策もプラスされ、保護者の方々も休む暇もないですが、頑張りすぎずにこの時と一緒に乗り越え、そして、1日も早く心穏やかに過ごせる毎日が来ますように、感謝の気持ちを忘れずに「健康第一」で、家族みんなでコロナ感染予防に努めていきましょう。

今年よりサイズをA3判からA4判に縮小します
 ホームページのリニューアルにより各園の発信する情報量も増えましたのでコンパクトにすることに致しました。また、年報は従来通りホームページにアップします。

受け継がれる 運動遊び

毎年、職員でテーマを決めて園内研修を行っています。「リトミック」・「わらべうた」・「絵本」：等、様々な内容の中から今年「運動あそび」をとりあげました。「運動あそび」を通して、子どもたちが元気に体を動かし、ひとつひとつの動きがどう結びついていくのか、もう一度丁寧に学ぼうということでこのテーマに決まりました。

この運動あそびは、『幼児の運動あそび研究会』（山川マサ子先生主催）に参加して『子ども達の姿勢づくりや健康な体づくり』を目指し、長い間職員同士が共通理解を深めながら取り組んできたものです。体づくりは赤ちゃんからのつながりです。毎日の寝返りや這い這いから始まり、年齢が上がるにつれ、マットや巧技台、縄やボールといった遊具を使い一人一人の体の動きや特性、癖などに配慮して働きかけ、取り組んでいくことに



◎子どもの姿や動きを思い起こしながら風を伝えるか、どうしようかと伝わるかを研修内で話し合ったり、実際に動いたりしています。

意味があります。「できる事」だけを目標とせず興味をもって取り組み、その過程も大事にしなが、卒園までに個々に合わせて自分の体をコントロールしたり、身を守る姿勢の獲得、バランスや柔軟性を育てていくことを目標にしています。

そのためには、私たち毎日の保育の中にこの「運動あそび」の目線から、子どもの発達を促えることができようになり、学び、受け継いでいかなければいけないと思っています。園内研修では、経験豊富な職員が助言しながら、テキストを一つ一つ見直し、実際に動きを確認したり子どもと同じように動くことを経験していきます。また、子どもたちの運動あそびを実際に指導することにより、さらに学びを深めています。

今年には新型コロナウイルスが猛威を振るい行事や活動がなかなか思うようにいかず、私たちも試行錯誤しながら日々を過ごしています。しかし子どもの成長・発達には運動あそびの視点からは変わることなく、毎日の積み重ねが大切です。「密」に気を付けながらの取り組み、系統に沿った計画等：子ども達が健康で「運動することが楽しい」と思えるような関わりを続けながらしっかりと今後へ繋げていきたいと思います。（主任保育士 荒津）



屋上改修および外壁塗装工事

北棟屋上の改修工事および外壁の塗り替えが行われました。屋上の柵の取り替えに伴い、シャワーヘッドを新調し、屋上へ通じる階段のシートも貼り替えました。

また、南棟の新築後、並べるとどうしても北棟の外壁の汚れが目立っていましたが、今回きれいに塗り直しました。ひさしの部分の色も南棟と合わせてやまぎ色になりました。夏になり、密を避けながらシャワーを浴びたり、水遊びを楽しむことができました。（楠本）



～食育の取り組み～

出来上がった給食はダムウェーターやエレベーターを使って各クラスへワゴンで運びます。給食担当職員が各クラスに入り、その日の食材についてクイズを出したり、大切な栄養について子ども達と会話を楽しみながら食育を行っています。

新しく三色食品群のボードを「2019年度在園記念品」として頂きました。食べ物の体の中での働きや特徴を3つの色（赤・黄・緑）に分類したボードです。当日の給食やおやつもボードの横に展示しているので、お迎えの保護者と子どもたちが「今日は何食べた？」「卵が入ってるね」など微笑ましい話声がいつも聞かれます。（給食主任 渡辺）



ホームページのお知らせ



ホームページ

ホームページがリニューアルし、子どもたちの様子もたくさんアップしています。法人のInstagramもありますので、そちらも是非ご覧ください。



Instagram

2020年度 職員構成

(8月5日現在 51名)

園長 三笠 良子

主任	荒津 佐知子
副主任	中村 一星
給食主任	渡辺 和
事務主任	林 美由起
もも組	小林 千春・福山 ひとみ 渡辺 久美子・松本 奈緒美 柳 孝恵
うめ組	飛來 弘子・佐藤 由佳 山下 鈴華
さくら1組	串尾 由依・坂本 未来 久保 香織
さくら2組	下川 加南子・磯 志徳実 松田 雄紀・中島 千賀子
さくら3組	楠本 勝馬・鎌田 眞理 前車 智子・袴田 れい子
年少フリー	今村 優己子・佐野 美奈子 古賀 美夏・薄 一美
なのはな組	山本 紗代
たんぽぽ組	濱 千尋・東 美早緒
すみれ組	平河 奈緒子・中野 日花里
れんげ組	池田 加奈・木村 千佳子
つくし組	畠山 美桜・湯之前 駿司
年長フリー	中村 一星(※)
給食員	渡辺 和(※)・谷口 徳香 串崎 美津代・郷良 小百合 川口 真奈美・齊藤 豊子 池田 善子・南 真紀子 神田 英里香
保育補助	平川 舞
用務員	小嶋 満廣
産休/育休	原口 直美・田畑 未奈実 林田 亜由美・柴藤 彩

2020年度 父母の会役員

会長 光野 典 (つくし)

会長補佐	三根 一晃 (さく53) 藤本 倫代 (さく52)
書記	渋谷 麻奈美 (すみれ) 中尾 里佳子 (さく52)
会計	川崎 佳奈 (すみれ) 平 結 (すみれ)
監査	佐藤 加奈子 (すみれ) 山内 えり子 (なのはな) 赤木 美紀 (れんげ) 宮本 明日香 (れんげ) 喜多 亜樹 (れんげ) 田邊 理 (れんげ) 栗田 和枝 (れんげ) 地福 ゆり (れんげ) 園田 里沙 (すみれ) 高瀬 瞳 (すみれ) 叶 佳枝 (すみれ) 倉掛 恵 (すみれ) 藤原 香織 (すみれ) 矢野 操 (すみれ)
役員	富士本 宏美 (たんぽぽ) 松本 直子 (たんぽぽ) 國司田 詩織 (たんぽぽ) 蒲原 由希子 (たんぽぽ) 宮崎 泉 (たんぽぽ) 王滝 佳奈 (たんぽぽ) 城野 美紀 (なのはな) 浦川 顕子 (なのはな) 尾上 喜子 (なのはな) 中尾 恵美 (なのはな) 高橋 安里采 (なのはな) 築地原 福子 (つくし) 是枝 正子 (つくし) 石崎 奈穂 (つくし) 河野 小百合 (つくし) 市川 絵美 (つくし) 荒巻 隆子 (つくし)

(※)は再掲